

今月のテーマ：春が来た！

どんどん雪が解け、動物たちは冬眠から抜け出した。さて松之山の地域おこし協力隊は何をしているのか？ 令和4年度の松之山の地域おこし協力隊員活動報告まとめ、春の抱負。

川手地区

地域おこし協力隊として採用されてから、早くも四ヶ月が経ちました。私は、野鳥こけしの伝統工芸品を通して、集落の方々と最初に連絡を取り始めました。お茶を飲みながら、困りごとを含めいろいろなお話を共有していただきました。その中で気づいたのは、一人暮らしの高齢者のみなさんの移動の難しさです。松之山の中限定ですが、送迎ができるような仕組み作りを考えています。

雪国の生活をもっと理解できるように、集落の様々なイベントにも取り込んで来しました。料理のお手伝い、美人林の案内の外国人の英語通訳支援しています。三月末に新潟大学のフランス人留学生がこの地域を訪れました、美人林、下川手と黒倉集落の方との交流、郷土料理体験、工芸品の見学などを通して交流を行われました。地元に残った新しい観光のカタチを若者に伝えたいと思います。



△雪上運動会



△ ブナ名札作り



担当 ローラン・アントワーン

川手地区の活動

そのほかの活動として、下川手集落でレジャー加工木工品を使っています。阿賀町の山奥にある木の学校で使い方習い、今は集落の方々のためにブナの葉の形をした名札を作っています。この機械の可能性を探ってみたいです。

また、前回の瓦版で述べたように、春の活動として、野菜作り支援、出荷、直売所の運営支援をする予定です。

松之山かわら版

Matsunoyama Kawaraban

Vol. 03

2023年4月

編集

ローラン・アントワーン
上村祥太郎
志水八千代
平本大輔

「松之山かわら版」は、松之山の地域に所属している地域おこし協力隊の活動広報誌です。

布川地区



良薬は口に苦し

担当 志水 八千代

雪解けの始まる春の日の午後、最後の教室（旧東川小）に行ってみると、坂本のおとうさんが「これを食べてみな。食物繊維が豊富なんだ。」と、見るからに自分は食物繊維が豊富だと体現している「トコロ」という植物を食べさせてくれました。味は、良薬口に苦しという言葉がすぐに頭に浮かんだ感じがした。山の知識が豊富で見たことのない色んなものを食べさせてくれる地域の方々のお話からは美容と健康という観点から学べるのが沢山あります。

日頃からこういうものを食べることが習慣にできるなら体に良いし、病氣も防

げて無駄に薬を飲むこともないのかもしれないと西洋医学に頼

りきった自分と家族の健康管理を見直すきっかけになりました。



△トコロ ヤマノイモ科
ヤマノイモ属の蔓性多年草

昨年の春は、地域の方から山菜の採れる場所を教えていただけたこともあり、新鮮な山菜の虜になりました。山菜は、山菜自身が成長していくために苦みやえぐみを備えて外敵から身を守っています。この苦味やえぐみの成分がポリフェノールです。ポリフェノールは体の中で過剰に発生した活性酸素を除去したり、酸化を抑制したりする抗酸化物質で即ち美容と健康に効果的。調べれば調べるほどに美肌効果に優れていて、これは絶対に世の女性たちに共有したいと山菜の美肌効果をまとめたリーフレットを作りました。「山菜のてんぷら」というと食べないから「葉っぱチップス」と命名したら、子どもが完食していました。今年の春も知られざる山菜の魅力を発信すること、これもひとつの地域おこしに繋がると 생각합니다。



△山菜リーフレット



△葉っぱチップス

黒倉集落

今年度の黒倉集落は4月の黒倉生産組合による育苗作業から始まり、春々秋は「大地の芸術祭2022」のパレス黒倉の準備運営や花壇整備による景観作り、道普請、秋の収穫祭・新ソバ祭りの開催、冬の助っ人隊による除雪や黒倉茶話会による地域交流など地域活動が目白押しでした。協力隊としても様々な活動のお手伝いをさせていただいたなあと振り返ってみて思います。

こうして地域一丸となって頑張る黒倉集落ですが、今年3月には黒倉集落協定の中山間地の取り組み事例を評価いただき、農林水産省所管の北陸農政局より表彰をいただきました。また農林水産省の表彰を受け、津南町での中山間地域活性化研修会でも黒倉集落から事例報告を行いました。黒倉集落として次の年度に向かって頑張るための嬉しい締めくくりとなりました。



1年の活動の振り返り。
新たな春に向けて。
担当 上村 祥太郎

浦田地区



協力隊ラストの年
担当 平本 大輔

浦田中が松之山での暮らしが二年ほど過ぎ、冬も三回ほど越えることができました。最初の一年は苦勞することばかりでしたが浦田の方たちに助けてもらいここまで来ることができました。除雪作業は十分に注意して行わないと大きな事故を招いてしまうことも、この暮らしえを通じて学びました。去年はとても雪が多く毎日除雪をするぐらい降っていましたが今年は去年に比べて少ないような気がしました。雪が少ないとここでは農作業にも影響があることも学びました。

また春が来ると農作業が始まったり山菜取りが始まったりで浦田中が騒ぎ始めます！

そんな騒いでいる様子を見ると

「春が始まってまた新しい農業が始まるんだな」としみじみ思います。

活動としては春と夏は田んぼと畑作業の手伝いをして日々勉強させていただいています。

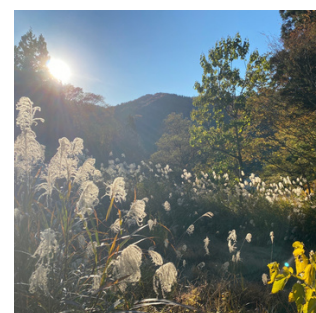
冬になると除雪や浦田の事務関係のお仕事をお手伝いしています。冬時は主に浦田交流センターにいますので皆さんお気軽にお越しください。また僕は協力隊の活動が二年経ち最後の一年となりました。まだまだ学ぶことがたくさんありますが退任後は家族と楽しく暮らせるようにこの一年間を大事に使っていききたいと思っています。



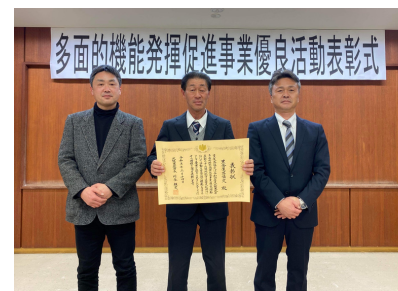
△活動写真



△息子写真



△活動時に撮った浦田の景色



△表彰式にて記念撮影。



△「パレス黒倉」のお披露目会。黒倉住民へ作家藤堂さんが説明を行う。



△中山間地域活性化研修会での発表の様子。



△去年の道普請の様子。夏は常に雑草との戦い。

この3月からはすでに黒倉生産組合での育苗作業が始まっています。べと合わせ、すじまきの日にちなど、田植えまでのスケジュールも決定。これから春に向けて他集落と同じく黒倉でも忙しくなります。私も協力隊として微力ではありますが、また春から黒倉の皆さんと頑張っていきたいと思っています。